

## 臨床研究「中枢型肺癌に対する陽子線治療による中等度寡分割照射の効果および有害事象についての検討」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

手術不能な早期肺癌に対する定位放射線治療の有効性は知られているが、これらは周囲に重要臓器が近接していない末梢型についてのものであり、中枢型肺癌に対する定位放射線治療の適切な線量分割はいまだ議論になっている。これは、高い線量を入れなければ局所制御率の低下が懸念される一方で、高い線量を入れると周囲の正常臓器への強い有害事象が生じる可能性が高くなり致死的な有害事象の発生も認めるため、そのバランスが問題となっている。陽子線治療は少ない本数のビームでかつ線量集中性が高いことから、周囲の正常臓器への線量ができれば寡分割照射がよく行われている。今回中枢型肺癌に対する陽子線治療を用いた中等度寡分割照射の安全性および有効性について検討を行い、その線量分割の妥当性について調べる。

### ② 研究対象者

2006年1月から2019年12月までに当院で陽子線治療を受けた早期中枢型肺癌の患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年12月31日まで

### ④ 研究の方法 対象者について後ろ向きに解析を行い、有効性の評価として生存率と局所制御率を、安全性の評価として有害事象を評価し、過去のX線治療における定位放射線治療の報告と比較を行う。以前の「高齢肺癌に対する陽子線治療」の研究データも用いての比較を行う

### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録、陽子線の治療計画、各種検査データ等

### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

櫻井英幸 医学医療系 放射線腫瘍科 教授

### ⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 担当 中村雅俊

電話 029-853-7100(平日 9～17時) FAX 029-853-7102

Mail proton\_therapy@pmrc.tsukuba.ac.jp